



一人より二人

～誰かがそばにいる幸せ～

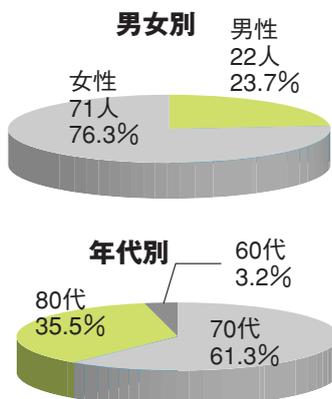
特 集

近年、晩婚化・未婚化が進み、2010年、初婚年齢は男性が30・5歳、女性が28・8歳となりました。*生涯未婚率は1985年、男女とも4%だったのに対し、2010年には、男性20%、女性10%を超えました。(国立社会保障・人口問題研究所2012年人口統計より)

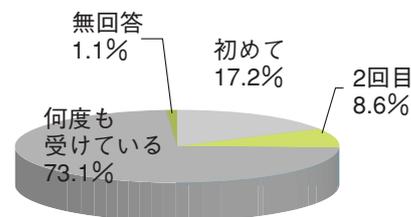
結果として、子どもの出生率も低下し、社会保障制度の持続や労働力の減少をどうするのか議論になっています。若者が結婚や将来に希望を持つためにも、高齢者が元気でいること、家族や仲間を持つことの良さが見えることが必要なのではないでしょうか。

そこで、三和公民館と山辺公民館の高齢者学級に参加されている93名の方に、結婚や元気でいることについて、ご意見をお聞きしました。

高齢者学級は70・80代の女性が中心

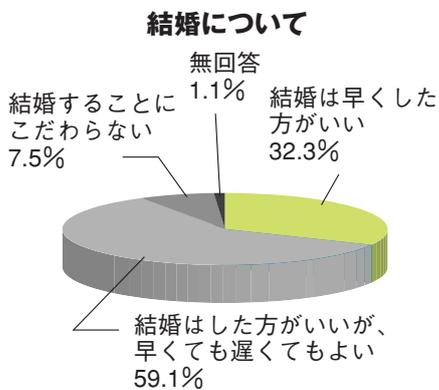


講座を受けるのは？



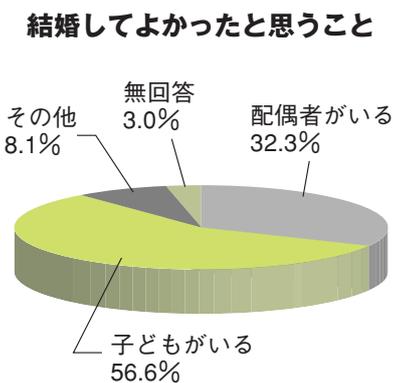
何度も受けている方が多く、女性が多いのは市内全域の傾向でもあります。ご夫婦で受けている方もいらっしゃいました。

「結婚」はした方がいい！



高齢者学級に参加の皆さんは、ほとんどの方(93%)が「結婚はした方がいい」と思っているようです。

家族が増えること



結婚してよかったと思うこと

配偶者や子どもの存在を選んだ方が多くいました。その他の回答で、「精神的安らぎを持つこと」や「愛情を感じる人と暮らせる」など、家族が増えることで精神的支えになると回答した方もいました。

※生涯未婚率：「45～49歳」と「50～54歳」未婚率の平均値から、「50歳時」の未婚率(結婚したことがない人の割合)を算出したものです。生涯を通して未婚である人の割合を示すものではありません。ただし50歳で未婚の人は、将来的にも結婚する予定がないと考えることもできることから、生涯独身でいる人がどのくらいいるかを示す統計指標として使われます。(公益財団法人 生命保険文化センターHPより)